

企業の発展を願い 従業員の成長を願う その一步一步を応援します

Step Up

2014年10月号 発行者：人事マネジメント研究所 進創アシスト 代表 鷹取敏昭 (人事コンサルタント, 社会保険労務士, 社会福祉士)
【無断転載・無断複製禁止】 携帯：090 3269 7712 E-mail：shinsou-assist@goo.jp

これだけは押さえておきたい！ 人事労務の最新情報

～弊社ブログに、下記情報のリンクを貼っています～
<http://shinsou-assist.blog.jp/>

地域別最低賃金の全国一覧/厚労省

<http://pc.saitteichingn.info/>

デング熱について/厚労省

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever.html

第65回全国労働衛生週間リーフレット/厚労省

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/130823-1.pdf>

「介護施設で働く労働者のアンケート」などHPに掲載/全労連

http://www.zenroren.gr.jp/jp/kurashi/data/2014/140805_01.pdf

「人材不足分野等における人材確保・育成対策推進会議」取りまとめ/厚労省

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000056282.html>

男女均等な採用選考ルール(パンフレット)/厚労省

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/index.html>

男性は「組織」、女性は「自分を取り巻く環境」に不満を持つ傾向/マイナビ

http://www.mynavi.jp/news/2014/08/post_157.html

「褒める」課長78.4%、それを感じる一般社員は48.6%・コミュニケーション調査/日本生産性本部

<http://activity.jp-net.jp/detail/mhr/activity001420.html>

企業の諸手当等の人事処遇制度に関する調査/JILPT

<http://www.jil.go.jp/institute/research/2014/127.htm>

「平成26年版労働経済の分析」公表～テーマ「人材力の最大発揮に向けて」/厚労省

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000057451.html>

採用選考に関する指針の手引きを改定/経団連

<http://www.keidanren.or.jp/policy/2014/078.html>

非正規から正社員への移行は「25～34歳」がピーク/平成26年版労働経済の分析/厚労省

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000057451.html>

事業場のメンタルヘルスの現状を確認したい場合/中災防

http://www.jisha.or.jp/web_chk/mh/

中小企業安全衛生活動自主点検システム～WEB版/中災防

http://www.jisha.or.jp/web_chk/chusho/index.html

労働者の疲労蓄積度チェックリスト/中災防

http://www.jisha.or.jp/web_chk/td/list_s.html

職業性ストレス簡易評価ページ～仕事のストレス評価/中災防

http://www.jisha.or.jp/web_chk/strs/strs01.html

職場環境等改善のためのヒント集(メンタルヘルスアクションチェックリスト)/東京大学

<http://mental.m.u-tokyo.ac.jp/jstress/ACL/>

漏洩の疑い、過去5年間で1割の企業が経験/帝国データ調査

<http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p140904.html>

職場の労務管理の基本

管理職として知っておきたいメンタルヘルス～その25

質のよい睡眠を得るための睡眠指針

休養がとれなかったり、睡眠不足が続くことで、心身の健康に影響を及ぼします。特に、不眠はうつ病のリスクを高めてしまい、業務にもさまざまな影響を与えることになります。

睡眠を十分取るため、質のよい睡眠を得るために睡眠指針というもの厚生労働省より発表されていますので、確認してみてください。 <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000042749.html>

朝の起床と昼寝の推奨

睡眠不足が続くと「寝だめ」で回復を図ろうと考えがちですが、効果はないといわれています。休日でも遅くまで寝床で過ごさず、朝日を浴びながらゆっくり軽い散歩などをすると清々さで、気分もリフレッシュできるでしょう。

また、昼寝も疲労回復と能率アップに有効だといわれており、昼寝を取ることを推奨している会社も出てきています。時間は昼食後から午後3時頃までの20分程度が適度です。昼寝の姿勢は、椅子にもたれるか机に突っ伏すのが良いとされています。横になると深い眠りに落ちてしまい、20分で起き難くなってしまいます。

職場で昼寝なんか無理と考えず、毎日だけでなく、交替で取れるときには取っても構わないという感じで工夫してみてください。

プライベートな部分ですが、ストレスを溜めさせないようにする睡眠についての教育や職場環境の配慮は、結局は会社の利益につながります。

人事マネジメントのワンポイントアドバイス

データから考える人事労務

経営分析データはいろいろある

経営分析が事業運営にとって大事なことは誰でもわかります。しかし、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー等を日頃見る機会のない人にとっては、分析のやり方や活用方法がわかり難いものです。しかし、上3表だけが経営分析ではありません。例えば、人事労務の領域でいえば、自部署の(勤続年数毎の)離職者数、勤続年数分布、新卒・中途の割合、研修回数や参加率・満足度、勤務当日の休職者とその日数・理由などはすぐ把握できるでしょう。これらも経営分析につながる立派なデータです。

データを活かす

ただ、数字だけを眺めていても意味はありません。ポイントはその数字を比較することです。例えば、前月・前期と比べてどうなのか？悪化している場合、それはなぜか？詳しく探り、原因をつきとめ、対策を講じることが大事です。また、数字としては問題なさそうに見えても、潜んでいる問題やリスクはないのかという視点も欠かせません。そのため、日々の業務の中でちょっとした会話や報告等の情報から変化や違和感を感じとる感性も必要。なお、この感性を鍛えるには、常に意識を働かせることや、モデルとなる上司や先輩の行動をよく観察・分析することです。

自己啓発に役立つ 推薦書紹介

『嫌われる勇氣 自己啓発の源流「アドラー」の教え』 岸見一郎他著 ダイヤモンド社 ¥1,500+税

(カバーより)フロイト、ユングと並び心理学の三大巨頭と称され、世界的名著『人を動かす』の著者・D.カーネギーなど自己啓発のメンターたちに多大な影響を与えたアルフレッド・アドラーの思想。悩みを消し去り、幸福に生きる具体的な「処方箋」がこの本にはすべて書かれている。

タイトルからは、よくありがちな自己啓発本のように思えますが、世界的な心理学者で、今注目のアドラーの思想をわかりやすく示しています。一度読んだだけでは理解できないところもありますが、他人との関係の持ち方やアプローチの仕方について、部下を率いる立場の者にも新たな気づきが得られるでしょう。

